

令和7年度第1回庄原市道徳教育推進委員会研修会

- 日時：令和7年6月30日（月） 14：00～16：35
- 場所：庄原市総合体育館 第2会議室
- 対象者：庄原市内各小・中学校の道徳教育推進教師20名

【目的】・教材分析及び模擬授業を通して、「深い学び」となる授業づくりのイメージをもつ。
・道徳教育推進教師としての役割を理解するとともに、校内における道徳教育推進及び充実を図るための方策について1年間の活動の見通しをもつ。

模擬授業及び授業解説「児童生徒の生き方につなげる授業づくりについて」

広島大学大学院人間社会科学研究科 教授 宮里 智恵



【模擬授業及び授業解説の概要】

- 道徳科の授業づくりにおいて、主題解釈と教材解釈からねらい・発問・板書を考える具体的な方法や、実際の授業の展開について研修した。
- 宮里教授が作成された「楽々授業づくりシート」を用いて、「児童生徒の生き方につなげる授業づくり」の実現に向けた道徳科授業の構想や教材研究の進め方のポイントを確認した。

指導・助言「庄原市道徳教育推進体制について」

広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 中嶋 謙太郎



【指導・助言の概要】

- 広島県教育委員会が作成された道徳教育校内研修資料を用いて、道徳科における指導と評価の一体化について指導・助言いただいた。また、評価の具体や児童生徒自身が自らを評価し、生き方につなげる授業づくりについて確認した。

講話・交流 「道徳教育推進教師の役割と今年度の計画について」

庄原市教育委員会 教育指導課 指導主事 小原 義史



【講話・交流の概要】

- 道徳教育推進教師としての役割を確認した後、今年度の活動計画について作成したものをグループで交流した。また、今後の校内研修において「楽々授業づくりシート」「校内研修資料」を活用していくことを確認した。

【参加者から】

- ・宮里教授に提供いただいた授業づくりを効果的にする「楽々授業づくりシート」がとても参考になった。子供たちに主題について考えさせるためには、指導者自身も道徳的価値の大切さを理解しておくことが大切であると改めて感じた。
- ・模擬授業でとても楽しく学ぶことができた。教材研究や発問の考え方に悩みをもっていたが、登場人物の心情を素直に捉えて授業づくりを行いたい。
- ・模擬授業がとても参考になった。中心発問を心情曲線から考える方法を理解できた。授業改善の具体的なヒントをたくさんいただいた。